



会報第127号

平成26年11月15日発行

阿戸地区社会

福祉協議会

広島市阿戸福祉センター内

電話 856-0294

阿戸町の世帯・人口

世帯数	951戸
人口	2,261人
男	1,114人
女	1,147人

(平成26年9月末日現在)

元気いっぱいの『敬老祝賀会』

平成26年9月14日(日)

阿戸地区社協 副会長 高山 義昭



阿戸福祉センターで75歳、80歳以上の方々87名の敬老者を迎え、敬老祝賀会が行われました。今年も例年の如く、中学1年生により、おもてなしの心で「おめでとうございます」の声掛けと、胸へのリボン付け

象的でした。こうした接待について生徒たちには、事前に勉強会をするなど意欲的に取り組んでいた。祝賀式典では景山事務局長の軽妙な司会進行により、挨拶の後、中学1年生のお祝いの言葉と合唱で無事式典を終えました。

第2部の祝賀会では、日頃取り組んでおられる大正琴の演奏や民謡、子ども達のダンス披露がありました。

特に女性会、くにくさ苑の方々はこの日の為に猛練習をされたそうです。

民生委員・児童委員の「それ行けカーブ」の大合唱では、お忙しいところ駆けつけて下さった大東和区長さんの飛び入り出演で大いに会場が盛り上がりしました。最後に松田さんのピアノ伴奏で「ふるさと」を全員で合唱し、来年の再会を約束し、散会しました。

をしていただきました。また生徒から「階段で行かれますか、エレベーターで行かれますか。」の案内に「わしゃー元気なけー歩いていくよう。」「そいじゃーエレベーターに乗せてもらおうか。」のほほえましい会話が印象的でした。

た大東和区長さんの飛び入り出演で大いに会場が盛り上がりしました。最後に松田さんのピアノ伴奏で「ふるさと」を全員で合唱し、来年の再会を約束し、散会しました。



敬老会に参加して

「おはようございます。おめでとうございます。」この言葉で高齢者の方をお迎えします。今日、敬老会がありました。私達は、玄関で高齢者をお迎えし、2階まで案内をして「翼をください」の合唱をしました。高齢者への接し方は、前に体験したので大丈夫だと思っていたけど、やっぱり緊張してうまくできませんでした。でも、「おはようございます。おめでとうございます。」と言うと、笑顔で「今日はよろしくねえ。」と言ってくださって、なんだか私まで笑顔になりました。

「翼をください」を歌う前に、藤井君があいさつをしました。「みなさんの元気な姿を見ると元気が出ます。」と言っていました。私もそう思いました。私も、高齢者の方々の元気な姿を見ると、なんだかうれしくなります。「翼をください」の合唱をした後、私があいさつをしました。言う言葉はちゃんと考えて決めてきたのに、真ん中に立った途端、頭の中が真っ白になって、言葉が出て来ませんでした。笑っていました。笑ってあ

いさつもしてしまったので、あいさつが終わったしゅん間にはずかしくなっていました。今日のボラン

今日初めて体験する「敬老会」があった。75歳と80歳以上の方を招き、お祝いのした。敬老会には87人の方が出席して下さい、その案内をした。案内をする時には必ず、「おめでとうございませう。」と声をかけるように教わった。しかし、私が4人案内した中で、3人はエレベーターで会場に行き、「もう年は取りたくない。」と話している人もいた。確かに年を取れば、足やこしが悪くなり、歩くのも辛くなると先月の高齢者体験で学んだ。全体的に見ても、階段を上がって行かずに、エレベーターを使って行った人の方が多かったらう。だが、年は健康でないと取れないものである。だからやはり、敬老の日を迎えられるのはとてもおめでたいことなのではないのだろうか。阿戸町には、高齢者の方が多く、現在は4人に1人が高齢者だそう。3年後には3人に1人、という割合になるらしい。しかしこれもまた、裏を返せば長生きの方が多いうことだ。私は今日、敬老会に参加して、逆に元気をもらったような気がした。まだまだ先のことが、私も長生きして、今度はお祝いされる方として敬老会に参加してみたい。

阿戸中学校1年 吉永 凜 今日初めて体験する「敬老会」があった。75歳と80歳以上の方を招き、お祝いのした。敬老会には87人の方が出席して下さい、その案内をした。案内をする時には必ず、「おめでとうございませう。」と声をかけるように教わった。しかし、私が4人案内した中で、3人はエレベーターで会場に行き、「もう年は取りたくない。」と話している人もいた。確かに年を取れば、足やこしが悪くなり、歩くのも辛くなると先月の高齢者体験で学んだ。全体的に見ても、階段を上がって行かずに、エレベーターを使って行った人の方が多かったらう。だが、年は健康でないと取れないものである。だからやはり、敬老の日を迎えられるのはとてもおめでたいことなのではないのだろうか。阿戸町には、高齢者の方が多く、現在は4人に1人が高齢者だそう。3年後には3人に1人、という割合になるらしい。しかしこれもまた、裏を返せば長生きの方が多いうことだ。私は今日、敬老会に参加して、逆に元気をもらったような気がした。まだまだ先のことが、私も長生きして、今度はお祝いされる方として敬老会に参加してみたい。

ティアに参加した体験を普段の生活に活かしたいです。

住民福祉講座 II

高齢者・ボランティア部会 平田 泰宣

今年度2回目の住民福祉講座を、福祉センターで開催しました。講師は、元広島市保健師の吉光成美様で、ご両親の在宅介護の実体験を基に「備えあれば憂い少なし」というお話で、両親との生活を続ける中、高齢となった両親が種々の福祉制度を利用して、在宅での看取りをするまでのお話をして下さいました。

続いて「地域包括支援センター」の職員による「介護保険の現状 地域包括ケアシステムについて」というお話でした。現在の高齢者の現状と、地域住民で支える今後の生活支援について、要介護状態になっても、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を実現して行くことが必要であるというお話でした。



平成26年9月25日(木)

住民福祉講座 I

高齢者・ボランティア部会 横山 みどり

超高齢化社会を迎え、我々はどう生きべきか？臨床社会学者の春日キスヨ先生を講師にお迎えし、講演を聞きました。

認知症は病気です。まず正しく理解しましょう。認知症になったあなたを大事にしてくれる「周り」の人たちが一番の財産で、近所との繋がりを大切にしましょう。きちんと判断できる今、資料を集め、地域包括支援センター等に相談し、自分なりの準備をすることが安心の第一歩です。認知症になった時、希望する暮らし方などを文書にし、親族・友人との関係と連絡先、施設入所か在宅（見守りや介護サービスの利用）希望か等も書き加え、自分らしく過ごしていきましょう。



平成26年8月28日(木)

福祉防災会議

高齢者・ボランティア部会 平田 泰宣

福祉防災会議を開催しました。これは地震や台風などで災害が発生した際に、自力で避難することが困難な住民の実態を把握し、避難の誘導やお手伝いをする為です。

阿戸町では昭和20年に大雨により川が氾濫して田畑が流され、犠牲者も出たと聞いております。本年の8月に、安佐南区と安佐北区において、集中豪雨により多数の犠牲者が出ました。阿戸町でもこれだけの集中豪雨に見舞われれば川の氾濫、土砂崩れが発生し、家屋等に被害が及び、多数の犠牲者が出ないとも限りません。日頃から避難場所の確認や災害時の備えを十分にしておきたいものです。



平成26年7月28日(月)

地域福祉懇談会

地域福祉部会 景山 香葉

今年度も各区において地域福祉懇談会を開催いたしました。6月8日の3区町内会を皮切りに、1区、5区、2区、4区、6区の順に、各町内会の班長会議において、7月末までに開催いたしました。

社会福祉協議会が行っている、いろいろな福祉事業を、プロジェクターの映像を見ながら、会長が分かりやすく説明いたしました。各区の班長さん達には理解していただけたものと思っています。

これからも住民の福祉の為、頑張っ事業を推進して行きたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



ボランティア交流会

高齢者・ボランティア部会

社協にはボランティアグループがたくさん登録されています。それぞれ活発に活動されているにもかかわらず、交流する機会がありませんでした。そこでボランティア同士の交流を図り、情報交換などとして今後の活動に活かせるよう、3年前から交流会を開いています。

今年も42名が参加しました。昨年に続いて皆さんに大好評でしたボランティアコーディネーターの山野節子先生にお出でいただき、各グループへ持ち帰って遊べるようなゲームを沢山教えていただきました。

ゲームの最中は先生のペースに巻き込まれ、童心に返って楽しい時間をすごしました。後半は各グループに分かれ、会の活動報告や実態などの情報交換をし、自分たちの活動の参考にしたいという人もいました。毎年楽しみにしている方もおられるので、ずっと続けて行きたいと思っています。



平成26年7月24日(木)

くにくさ苑での交流会

児童・障がい児者部会 松田 英子

日毎に秋が感じられるようになった日、小学3年生と一緒に「くにくさ苑」入所の方々と訪問し、交流をさせていただきました。

はじめ入所の方にぎこちなかった子ども達も、次第に打ち解け、入所者への発表は、村まつりやふじ山等、昔懐かしい歌で始まり、優しさのこもったゲームへと展開しました。終わりを迎える頃、折り紙のプレゼントがあり、温かな雰囲気の中、「また来てね。」の入所者の方の言葉に、子ども達も喜びをかみしめたのではと思います。

子ども達も、私達も、思いやりとほのぼのとした気持ちを持ちながら、「くにくさ苑」をあとにしたのでした。



平成26年9月20日(土)

老人クラブ運動会

広報部会 末永 宏征

2年に1度行われている老人クラブ運動会が公民館で行われました。老人クラブ連合会真藤会長の挨拶から始まり、4クラブ総勢67名が各種目に参加しました。

競技は、ソフトバレーボールを顔に挟んで落とさないようにコースを走り速さを競う競技や、電車に見立てた段ボールに4人が入りリレーする競技、背中に書かれた文字を読み取り、次の人の背中に書いてリレーし、アンカーが答えを言う競技など、盛り沢山でした。競技に参加する人も応援

する人も一丸となって取り組み、秋の初めにさわやかな汗を流しました。

また会場では久しぶりに会う仲間や、仲の良い友達と会話がはずみ、競技中での好プレー・珍プレーにたくさんの拍手や笑い声があふれ楽しい一日を過ごす事が出来ました。準備・進行などお世話いただいた阿戸体協、老人クラブの役員の皆さまありがとうございました。また2年後も元気でお会いしましょう。



平成26年9月20日(土)

ふれあいクラブ交流会

阿戸町スポーツ推進員
山口 照美

社協主催のふれあいクラブ交流大会が開催され、私もスポーツ推進員としてお手伝いさせていただきました。クラブは安芸区が力を入れている生涯スポーツの一つです。年配の方でクラブの安芸区の大会に参加された方もいらっしゃるようですが、子ども達には初めてのスポーツだったと思います。子ども達と高齢者のスポーツ交流はとても大切な時間だと思えます。私自身、楽しくクラブをさせていただきまし

た。このような高齢者と子ども達のふれあいの時間は、阿戸町の「思いやりの町づくり」の基本となるような行事だと思っています。これからも長く続けて行きたいと思っています。とても大切な時間を過ごさせていただいた事を感謝しております。

 善意の灯

次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。

ご厚志、まことにありがとうございます。

◆香典の返礼にかえて

谷 本 信 雄 様
向 井 みどり 様
舩 迫 富佐子 様
井 場 知 己 様
景 山 浩 和 様

◆見舞いの返礼にかえて

池 田 正 裕 様
藤 岡 実 様
地 主 ヨシコ 様
横 田 教 子 様
新 崎 トシエ 様

◆一般寄付

阿戸町商工会 様



●阿戸地区社協のつぎ

ボランティア交流会

福祉防災会議

第3回理事会

親子の集い

住民福祉講座(Ⅰ)

敬老会

くにくさ苑交流会

(小学3年生)

共同募金打合せ

住民福祉講座(Ⅱ)

第2回福祉教育推進会議

共同募金運動開始(12/31)

施設見学会

(安芸の郷 森の工房)

高齢者との交流会

「あと社協」127号発行

(中学3年生)

〈以降は予定〉

金婚祝い慶祝訪問

しめ飾りづくり

(中学2年生)

◎毎週金曜日(第5除く)の午

前に、困りごとやボランティ

ア活動の相談に応じる

◎毎月(第2土曜日)配食サ-

ビスの実施



編集後記

今年も敬老会が開催され、お年寄りの方々の元気な姿を見ることができました。

元気で長生きの秘訣は何か。先日講演会で「早寝・早起き・朝ごはん」と「適度な運動」が大事だといった話を聞きました。昔から言われているごく当たり前の事に思えますが、科学的にもこれが証明されるとの事です。

さて自分の生活を振り返ってみると、どれもそんなに不足してないような気がしますが、毎日規則正しいかと言うと...。1日6時間寝て80年生きるとすると、人間一生のうち20年は布団の中で過ごすことになります。この20年の使い方が自由に選択できないか、忙しい時には、「寝ため」ができればいいのになんて考えますが、そんなに都合よく体は動いてくれません。

前段の「早寝・早起き・朝ごはん」と「適度な運動」は成長期にある子ども達にとっては特に大事になります。便利な社会になり、夜でも明るい場所は多く、誘惑の多い生活環境になってきましたが、子ども達には規則正しい生活で、大きく成長して欲しいものです。